

平成16年9月30日 発行

# IUHW

vol. **57**  
September  
2004

The gazette of International University of Health and Welfare

発行：学校法人国際医療福祉大学  
編集：広報委員会 ☎0287-24-3000  
ホームページアドレス：<http://www.iuhw.ac.jp>



## News ● 2005年4月

# 薬学部を開設予定、 武道館（10周年記念事業）を新設。

（名称募集中！）

### 特集

## 学生たちが体験した、 海外保健福祉事情／ 海外研修・活動報告

—ベトナム・中国・アメリカ・オーストラリア

#### ◆「人」第6回

### 「社会福祉と寄付の文化」

医療福祉学部長・医療福祉学科長・教授  
鈴木五郎

#### ◆新連載エッセイ「映画の心と眼」第1回

### 「現代人にとって祈りとは」

客員教授 諏訪 淳

#### ●医療制度改革の最先端に身をおき、 病院の変革を担える人材育成を目指す

医療経営管理学科教授 高橋 泰

### Topics

笹沼澄子教授最終講義—言語コミュニケーション障害の臨床と理論—／「言語聴覚学科卒業研修会」で、伊藤元信前学科長が講演／国際医療福祉大学クリニック言語聴覚センターでミニセミナーを開催／恒例の語学教育センター主催 English Eveningsに88名が参加／献血運動の推進に貢献と、坂口厚生労働大臣からボランティア「レッド・ホッポ」に感謝状が贈られる／平成16年度第1回「大学院全体会議」開催／平成16年度「学内研究費研究発表会」が開催される／言語聴覚学科同窓会“おおるり会”主催「第6回 卒業研修会」が開催／「第8回日本看護管理学会年次大会」が、中西睦子看護学科長を大会長に開催

### 告知板

「看護学科公開学習会」のお知らせ／  
「OB・OGセミナー&座談会」開催のお知らせ



薬学部棟（平成17年2月完成予定）

新設する薬学部においては、これまでの薬学教育のあり方を見直し、充実したカリキュラム編成の下で、教育と実習の密接な連携を行い、医療福祉分野での科学技術の高度化や専門化に対応できる、質的・技術的に高いレベルを持った薬剤師の教育をめざしてまいります。

# 国際医療福祉大学は 国際性豊かな 新時代の薬剤師の 養成をめざして 平成17年4月、 栃木県大田原市の キャンパス内に 薬学部を開設予定です。

科学技術の高度化や専門化に対応できる、質的・技術的に高いレベルを持った薬剤師の教育をめざして

国際医療福祉大学学長 谷 修一



本学は、二学部八学科を擁する医療と福祉の総合大学として、全学科を同一のキャンパスに配置し、病気や障害を持つ人も健康な人も、お互いを認めあう、共に生きる社会」の実現を、建学以来の教育理念に掲げています。二十一世紀の健康、医療、福祉を担うことができ、広い視野を持つ人材を育成することこそ本学の夢であり目標です。

時代が求める、新しいタイプの薬剤師の育成をめざします。

**国際性豊かな薬剤師**

- 患者の心の痛みがわかる薬剤師
- コミュニケーション力の豊かな薬剤師
- 国際的視野を持った薬剤師

**医療人としての薬剤師**

- 患者本位の医療に貢献する薬剤師
- チーム医療の一環として医師、コメディカルスタッフ等と連携できる薬剤師
- 調剤薬局の経営を担う薬剤師

**21世紀の創薬への貢献**

- バイオテクノロジーを基盤とした新規医薬品の創製に貢献できる人材の育成
- 臨床試験コーディネーターの養成
- 専門性豊かな医薬情報担当者(MR)の養成

**高度医療への貢献**

- 高度な薬の知識、調剤・製剤技術を有する薬剤師
- 高度な医薬品情報を活用し、医療の安全に貢献できる薬剤師

従来にはなかった多くの新設科目(青字)を予定しています。



薬剤師国家資格取得に加え、卒業進路に合わせた実践に役立つ科目の選択ができます。卒業後、実践に役立つ科目が在学中に学べます。  
製薬企業の創薬・開発担当者、製薬企業のMR、調剤薬局の管理・経営者、病院薬剤師、治験コーディネーター 他

設置認可申請中のため募集要項の配布は、11月下旬からになる予定です。詳細は本学ホームページをご覧ください。  
入試についてのお問い合わせは、入試センター入試課まで。 TEL 0287-24-3200 FAX 0287-24-3199 http://www.iuhw.ac.jp E-Mail: nyushi@iuhw.ac.jp

本学沿革	
1988(昭和63)年4月	本学の設立に向けて、調査活動開始
1989(平成元)年4月	「国際医療福祉大学設立構想委員会」発足
1991(平成3)年9月	第1回設立準備委員会開催
1992(平成4)年12月	文部省の許可により「財団法人国際医療福祉大学設立準備財団」設立
1993(平成5)年7月	学校法人の寄付行為認可申請ならびに大学設置認可申請(1次)
1994(平成6)年12月	文部省により「学校法人国際医療福祉大学」ならびに「国際医療福祉大学」設置認可
1995(平成7)年1月	保健学部校舎等竣工
1995(平成7)年4月	国際医療福祉大学開学・保健学部開設
1997(平成9)年1月	医療福祉学部校舎竣工
1997(平成9)年2月	国際医療福祉大学クリニック(健康管理センターおよび言語聴覚センター)竣工
1997(平成9)年4月	医療福祉学部開設
1998(平成10)年4月	「通信・放送機構(TAO) 那須遠隔リハビリサーチセンター」開設
1998(平成10)年6月	大学院設置認可申請
1998(平成10)年12月	文部省により国際医療福祉大学大学院設置認可
1999(平成11)年4月	国際医療福祉大学大学院医療福祉学専攻(修士課程)開設
2000(平成12)年4月	大学院棟(L棟)竣工
2001(平成13)年4月	大学院保健医療学専攻(博士後期課程)および医療福祉経営専攻(修士課程)開設
2001(平成13)年12月	視機能療法学科、医療福祉学科介護福祉士コース校舎(M棟)竣工
2002(平成14)年4月	保健学部視機能療法学科および医療福祉学部医療福祉学科介護福祉士コース開設
2002(平成14)年7月	国際医療福祉大学附属海病院開設
2004(平成16)年6月	薬学部設置認可申請(平成17年4月開設予定)
2004(平成16)年7月	リハビリテーション学部設置申請(平成17年4月福岡県大川市に開設予定)
2005(平成17)年4月	創立10周年



体育館に隣接して建設中の新施設(平成16年3月完成予定)

**この新しく建設される施設に、親しみやすい名前を付けてください**

国際医療福祉大学は、平成十七年四月、創立十周年を迎えます。

十周年を記念し、現在の体育館に隣接して、新しい施設を建設中です。

新施設の一階は全手・剣道・合気道・少林寺拳法・柔道などの「武道場」、二階は「レストラン」、三階は「弓道場」です。武道場・弓道場ともに、練習だけでなく公式試合にも使える本格的なものです。

来年三月に完成予定の「」の多目的施設に、親しみやすい名前を付けてください。

左記の要項に従って、奮って応募ください。

**【応募要項】**

一 応募資格  
一般・本学学生・教職員、どなたでも応募できます。

二 応募締切り 平成十六年十月三十一日

**三 応募方法**  
本誌十一ページの「応募用紙」をコピーするか、または切り取って、その名称を選んで理由(氏名・住所・連絡先(本学学生の場合は、学科・学年も)を記入して、学生課宛に郵送してください。FAXでの応募も受け付けてあります。学生の方は、応募用紙を学生課に用意してありますので、学生課窓口「応募箱」へ。  
応募用紙は大学ホームページからもダウンロードできます。  
<http://www.iuhw.ac.jp/topics/budoukankoubo.html>

**四 応募先・問い合わせ**  
〒324 8501  
栃木県大田原市北金丸二六〇〇  
国際医療福祉大学学生課  
電話：〇二八七(二四)三〇〇三  
FAX：〇二八七(二四)三三四〇

**五 賞品：図書カード(五万円分)**  
(学生課)

# 国際医療福祉大学は平成17年4月、 創立10周年を迎えます。

## 10周年を記念して、 武道場・弓道場・レストランを備えた 多目的施設が平成17年3月に完成します。



で良かった。研修先の施設や病院はいずれも受け入れは良い。日系施設での浴衣着用の歌のボランティアは好評だった。時々研修後に運転手の方に市場や海岸の方を迂回してもらった。何年か後に学生が美社会に出て人生の辛さを感じたときに、皆で見た海岸の美景と共に、ご両親や大学の配慮で豊かな時間と経験ができたことを思い出し、頑張る気持ちになってくれたら引率した甲斐がある。学生と共に大学の関係者、学生のご両親にもこの研修が有意義で無事に終了できたことを感謝と共に報告する。  
(引率教員・看護学科助教 金子 升子)

### 空と海と共に…… オーストラリア

素晴らしい青空と美しい海に魅せられたオーストラリアでの海外研修。私たちオーストラリア班員において最も貴重な経験となったものは、何と云ってもホームステイである。コミュニケーションを取るために嫌でも英語を話さなければならぬという生活環境は、私たち十五人の英会話のスキルを確実にアップさせた。また、それは日々の生活においても同様であったことは言うまでもない。各家庭でのハウスルールや食事、休日の過ごし方などの違いはあったものの、一週間という短い期間



オーストラリア：Care Flight 見学

の中で十五人全員が最高の思い出を作った。病院や施設の見学では看護学科が中心となり、日本と比較しながら医療を学んだ。天候にも恵まれた二週間の旅でかけがえのない思い出と自信を手に入れた十五人。私たちは確かに成長し、何より素敵で充実した時間を過ごしたことは間違いない。  
(視機能療法学科三年 神藤謙吾)

二〇〇四年度海外研修  
オーストラリア研修参加者十五名。ホームステイ、英語の授業、そしてオーストラリアの福祉事情のレクチャーの聴講、ホスピス・老人介護施設などの見学とG・C・I・T (Gold Coast Institute TAKE)側の度重なる予定変更があった

ものの、盛りだくさんの内容を無事こなす、有意義な研修を受けることができたことと信ずる。特にデビー先生の講義は分かりやすい内容で、オーストラリアの福祉システムの実際と日本のそれとを比較する上で、大変役に立ったのではないかとと思う。今回特別にVision Centerの見学をすることができたが、学生の期待が大きかったGold Coast Hospitalの見学ができなかったのは、とても残念だった。

宿泊したホテルは、延々と続く美しいゴールドコーストの海岸がすぐ近くであり、朝夕の散歩を堪能することができた。気候の違いから風邪を引いた学生もいたが、大きなトラブルもなく無事終了したことに、お世話になった関係者の方々に深く感謝申し上げる。  
(引率教員・視機能療法学科講師 三柴恵美子)

### お知らせ

平成十六年度大学祭(風花等)にて開催  
「国際DAY」プログラム(予定)

日時：平成十六年十月十七日(日)

午前九時三十分～十二時四十五分

場所：E-101教室

進行：小野田公・理学療法学科二年

／青年海外協力隊OB隊員

開会挨拶

国際医療福祉大学・国際交流委員会委員長 田中美子

・九時三十分～三十五分(五分)

【第一部】

国際医療福祉大学学生の海外研修・ボランティア活動報告

一 ベトナム・中国・アメリカ・オーストラリアでの海外研修・ボランティア活動報告

二 国際保健協力海外研修報告(フィリピン)

および学生団体OPSTの活動報告・遠藤雅幸(Overseas Primary Health Care Study Team)

・九時三十五分～十時五十五分(八十分)

【第二部】

国際協力機構(JICA)の事業の解説および

び青年海外協力隊OB OG隊員の活動報告  
一 国際協力機構(JICA)の事業の解説(仮題)  
二 青年海外協力隊OB OG隊員の活動報告  
・十時五十五分～十一時五十五分(六十分)含、質疑応答)

【第三部】  
特別講演

「日本とオランダの科学技術交流」江戸時代/長崎・出島から二十一世紀まで(仮題)

在日オランダ大使館・科学技術参事官 フィリップ ウエイヤス

・十一時五十五分～十二時三十五分(四十分)含、質疑応答)

来賓挨拶(予定)

財団法人 栃木県国際交流協会

閉会挨拶

国際医療福祉大学学長 谷 修一

・十二時三十五分～十二時四十五分(十分)

主催：国際医療福祉大学 栃木県青年海外協力隊OB会

共催：独立行政法人 国際協力機構・東京国際センター

後援：大田原市 財団法人 栃木県国際交流協会 大田原国際交流会



最終講義を行う笹沼澄子教授

### Date: June 6/19 言語コミュニケーション障害の臨床と理論 笹沼澄子教授最終講義

六月十九日(土)、笹沼澄子教授の最終講義がF-101教室において行われた。当日は在校生だけでなく卒業生も多数駆けつけ、笹沼先生の講義を皆真剣な眼差しで熱心に聴いていた。

講義は「概観」「コミュニケーション障害を「みる」ということから」「読むことに関する障害である「失読」について症状やその発生機序仮説」これまでの研究のReviewなどが具体的に示され、学生にとって、大変理解しやすいものであった。最後に笹沼先生より熱いメッセージを頂き、学生は皆、言語聴覚士になることへの意識

がさらに高まったようだ。

講義後はカフェテリアに会場を移し、懇親会が行われた。懇親会では常に大勢の学生が笹沼先生を囲み学術的なお話のほか、さまざまな話題に花を咲かせていた。学生たちにとっては、笹沼先生とゆつくりとお話をしたり、記念写真を撮ったりと、楽しい時を過ごすことができたとともに、良い刺激を受けたようだ。

笹沼先生に師事した学生は、今後ますます全国で活躍することだろう。  
(言語聴覚学科助手 伊藤智彰)

### Date: June 6/20 言語聴覚学科卒業研修会 伊藤元信前学科長が講演

今年度の言語聴覚学科卒業研修会では、「摂食・嚥下リハビリテーションにおける言語聴覚士の役割 何をすべきか、何ができるか」という演題で、伊藤元信前学科長(現常務理事)にご講演いただいた。

十数年前までは、摂食・嚥下に困難を来す方々に対して専門的な立場から言語聴覚士がかかわることはほとんどなかった。ところが摂食・嚥下障害はコミュニケーション障害(言語障害や発声発話障害)を併発することも多いためか、今や言語聴覚士の臨床業務として定着している。一方で摂食・嚥下は肺炎や窒息などの生命にかかわるリスクを伴ったために敬遠されがちであることも事実であるが、本学科の卒業生たちは意欲的に取り組み伊藤先生の講演も食い入るようにして聴

いていた。

先生は摂食障害と嚥下障害の違い、そして嚥下機能に関する評価・診断方法およびさまざまな訓練アプローチについて映像を供覧しながら丁寧かつ歯切れよく講演して下さった。映像の中では米国のSpeech-Language Pathologist(日本の言わば言語聴覚士)が自らX線透視装置やビデオ内視鏡で嚥下運動を観察し、嚥下の病態や誤嚥の程度を評価している場面があった。日本においては言語聴覚士がこれらの機器を扱つことは法的に認められていない。伊藤先生は、「最新の機器を用いて評価・診断することも必要だが、言語聴覚士の視点で患者の状態をよく観察することこそが評価・診断の基礎であり、丁寧にその観察記録を残しながら訓練することも立派なEvidence Based Medicineである。そのためには、やはり専門的知識と技術のたゆまぬ研鑽が必要である」という内容で講演を終わられた。

摂食・嚥下リハビリテーションに関する知識が得られただけでなく、言語聴覚士としての原点に立ち返ったような爽やかな気分になる講演であった。  
(言語聴覚学科教授 城間将江)

### Date: July 7/6 国際医療福祉大学クリニック言語聴覚センターでミニセミナーを開催

国際医療福祉大学クリニック言語聴覚センターでは、県北を中心とした関連機関(病院・福祉施設・学校・幼稚園・保

育園など)に勤務するさまざまな職種の方々とともに、学び交流する場として、今年度もミニセミナーを開催している。

第二回ミニセミナーでは七月六日(火)に日本医科大学附属病院耳鼻咽喉科頭頸部講師、三枝英人先生より、「頭頸部腫瘍手術後の嚥下障害とそのリハビリテーション」と題してご講演いただいた。介護職員、福祉職員、医師、学生など二十八名の参加があり、三枝先生からは症例の紹介を交え、分かりやすくお話いただき、専門的な内容に参加者が熱心に聞き入った。講演後には、手術やより詳しいリハビリテーションの手法から、実際の嚥下障害患者に対する接し方・日常生活での対応の仕方に至るまで幅広い質問が多数飛び交い、講演は大変好評であった。

今後も第一火曜日を中心としてミニセミナーを開催する予定だが、第三回の講演は九月七日に「きこえとことばの教室の指導と役割」と題してさいたま市立高砂小学校ことばの教室教諭、高橋明子先生をお招きしてご講演いただく予定である。本学職員、学生の参加も可能。

### 問合せ先

国際医療福祉大学クリニック・言語聴覚センター(本郷・内海・落合)

電話：〇二八七 二四 一三三三

FAX：〇二八七 二四 一〇〇三

(言語聴覚センター言語聴覚士 内海景子)

恒例の、語学教育センター主催 English Evenings に八八名が参加

恒例の英語夏季公開講座が、七月二十日(火)から二十三日(金)までの四日間... 参加者数もこれまでで最高の八八名となり、幅広い年齢層の受講者が、日常生活では決して机を並べて学ぶことのない仲間たちと楽しく英語を学んだ。

顔なじみのメンバーとは、お互い変わりなく元気であることを喜び合い、以前は小学生だった坊やが背丈も伸びて立派な中学生になって参加してくれたのを嬉しく迎え、初日はhomecomingさながらの雰囲気になった。アメリカ人教員の指導時間では、Leisure Activitiesというテーマにそって授業が組み立てられた。初心者クラスではゲームに興じながらの英会話を体験し、初級・中級クラスではそれぞれに用意されたテキストをもとに展開される英会話を学び、上級クラスでは自分の考えを英語でいかに表現するかを学んだ。加えて、LL教室では、ビデオ教材やアメリカのクイズ番組を見たり、詩や英会話の練習の録音をしたり、英語の歌を歌うなど、盛り沢山のプログラムが組まれた。そして、最後の夕べには軽食が用意され、参加者全員が集うパーティーが行われ、それぞれのクラス代表が流暢なスピーチを披露し、拍手喝采をあびた。父娘が二人並んで英語で挨拶をするほほえましい様子もあり、終始和やかな雰囲気のひとつとなった。

Date: July 7/29 平成十六年度、学内研究費研究発表会が開催される

七月二十九日(木)、平成十六年度学内研究費研究発表会が開催された。この発表会は、毎年、年一回、昨年度一年間の研究成果を口頭またはパネルセッション方式で発表するものである。

当日は、午前九時に中西睦子FD委員会委員長の挨拶により開会し、お昼休み一時間を挟んで、十四時三十分まで、二会場に分かれて、十一名の口頭発表、四名のパネルセッション(うち二名は研究発表概要による報告)による発表が行われ、谷学長をはじめ、多数の教員の皆様にご参加いただき、活発な質疑応答が展開された。

医療系、医療技術系、理工系、文科系の教員が協同して講義を行っているのは、コメディカルの総合大学である本学の特色の一つであるが、それらの教員が一同に会する本発表会は、学内における教員相互間の専門分野の認識または共通する研究テーマの発見等の場として、貴重な機会となっていると言えよう。

なお、十月十八日(月)には、平成十六年度「教員研修会」が開催される予定であり、テーマについては、現在FD委員会において検討中だが、「学生による授業評価の考え方や活用、課題等」に焦点を合わせたものになる見込みである。多数の教員の積極的な参加を期待したい。

(医療経営管理学科助教授 大隈暁子)

English Evenings の楽しさは、参加者の意欲とエネルギーが創り出すものだと感じた四日間であった。また、「できれば、夏季だけではなく、もっと英語の公開講座を開講してほしい」というリクエストも数多く寄せられた。最後には、「See you next year again!」と声を掛け合いながら名残を惜しんだ。(語学教育センター教授 南井紀子)

Date: July & August 7/22 & 8/4 献血運動の推進に貢献、坂口厚生労働大臣から、ボランティア「レッドポツポ」に感謝状が贈られる

このほど、国際医療福祉大学に、献血運動の推進に多大なる貢献があったとして、坂口厚生労働大臣から感謝状が贈られた。

感謝状の贈呈伝達式は、去る七月二十二日(木)宇都宮市の「とちぎ福祉プラザ」において行われ、本学からは谷学長中嶋事務部長が出席、福田昭夫栃木県知事より感謝状と記念品が贈呈された。

これは、第四十回献血運動推進全国大会開催に伴い、献血運動の推進に多大な貢献があった県内の七団体に贈られたもので、本学は公認部活動である、赤十字ボランティア「レッド・ポツポ」の長年にわたる献血ボランティア活動の実績が高く評価されたものである。

前期試験が終了した去る八月四日(水)、谷学長から「レッドポツポ」の佐藤卓郎部長(看護二年)、堀内由香(看護二年)、横田優希(看護二年)両副部長の



パネルセッション会場にて

Date: August 8/1 言語聴覚学科同窓会 おおるり会主催 「第六回 卒後研修会」が開催

八月一日(日)本学F101教室において、言語聴覚学科同窓会、おおるり会主催の「第六回卒後研修会」が開催された。今回は埼玉県立小児医療センター耳鼻咽喉科科長である坂田英明先生に新生児聴覚スクリーニングに関して講演いただき、その後卒業生三名による症例および活動報告が行われた。

坂田英明先生の講演は卒業生にとってはおもろいこと、出席していた在学生にとつて言語聴覚士という専門職に就く者が現場で求められているもの、なすべきことを指導いただけたのではないかと思う。また、特に四年生にとつては言語聴覚士国家試験や就職が一層現実味を帯びて感じられたのではないだろうか。

症例および活動報告では、三名の卒業生からイギリスでのボランティア活動報告、維持期における言語聴覚士の役割、入所施設利用者への入所に至る背景につ



谷学長から感謝状を受ける「レッドポツポ」の佐藤部長と堀内・横田両副部長

三名に対し、感謝状と記念品贈呈の伝達があった。

現在部員は、男女計四五名が在籍し、定期的に行われる学内での献血や、街頭で行われる献血運動にボランティアとして参加している。また、県内の献血ボランティアサークルで組織する栃木県献血推進連盟「かけはし」にも参加し、他大との交流も盛んで、交流会の開催や献血運動への共同参加など幅広い活動を行っている。栃木県の献血運動発展に大きく貢献している。

本学としても、同部の発展を応援するとともに、今後のさらなる活躍を期待したい。(学生課 宮下貞男)

Date: July 7/27 平成十六年度 第一回 大学院全体会議が開催

七月二十七日(火)、平成十六年度第一回大学院研究科会議が開催された。この会議は、大学院教育にかかわる先生方が



教員懇親会での水巻中正先生と佐藤貴一郎先生

それぞれ報告がなされ、フロアからの質問や言語聴覚学科教員からのコメントが出された。卒業生同士がお互いの業務・活動状況について理解を深めるとともに今後の課題等についても検討できたと思われる。

回を重ねること六回、今年も全国各地から懐かしい顔ぶれが揃う卒後研修会となった。その顔は学生の頃の様子を思わせることも、言語聴覚士という一専門職の顔も併せ持っていた。今後の言語聴覚学科同窓会、おおるり会、の発展とともに卒業生たちのさらなる活躍を期待したい。(言語聴覚学科助手 鳥野幹夫)

Date: August 8/20・21 「第八回日本看護管理学会年次大会」が中西睦子看護学科長を大会長に開催

八月二十日(金)・二十一日(土)の二日間、栃木県総合文化センター(宇都宮市)において第八回日本看護管理学会年次大会が開催された。

日本看護管理学会は看護管理に関する学術の交流、医療経営・管理における最新情報の提供ならびに参加者相互の情報交換を行うことにより、日本における看護管理の発展とそれによる医療の質向上に貢献する目的で設立された学術団体である。会員数は現在一三〇〇人あまりで、構成メンバーは看護管理者を含む看護実践者、看護教育者、看護研究者、看護行政担当者等と幅広く、改革期にある日本の医療および看護の実情を反映してか

日ごろ感じている問題点等について意見交換をする場である。

当日は、東京サテライトキャンパスを主会場として、大田原本校、福岡、柳川、熱海の各サテライト教室を遠隔会議方式で結んで行われた。全会場で五五名の先生方が出席され、開原成允大学院長の議事進行で、まず各サテライトおよび各分野の現状と問題点の報告、本年四月に初めて開講した公開講座の「乃木坂スクール」について、前期総括と後期の計画について発表があった。

引き続き、大学院入試の進め方、大学院自己点検・評価アンケート、専門職大学院の取り組み等について審議がなされ、方向性が承認された。

会議終了後、主会場である東京サテライトキャンパスでは、乃木坂ホールに移動し、教員懇親会が開催された。真夏日が続く中、おいしい料理に舌鼓を打ちながら有意義な情報交換がなされた。(教育企画本部 小田浩)



大会長講演「組織を支え、組織を変える“副”の立場の働き」を講演中の中西睦子看護学科長

**TOPICS**

医療制度改革の最先端に身を置き、病院の変革を担える人材育成を目指す  
**DPCCに対応した人材を育成するための試み**

医療経営管理学科教授 高橋 泰  
 「DPCCによる包括支払い」が平成十八年春に本格稼働する。新しい制度へ移行しないと急性期医療を行うことが難しくなり、急性期医療を行っている病院の多くは、DPCC体制に移行するか、しないかという病院の存亡にかかわる決断を迫られている。

こうした中、医療経営管理学科では、DPCCに対応した人材を育成するために二つの試みを開始した。第一は、DPCCの試行を行っている日本の先進病院と医療経営管理学科が協力して卒業特別研修を開始することである。選抜試験に合格した当学科の四年生が、研修病院で、卒業幹部候補生として一年間の有給研修を受ける。当学科の國分厚志君、宮澤真奈美さんが日鋼記念病院（北海道）、鈴木寿和君、橋本昌仁君が河北総合病院（東京）、木下洋一郎君が赤穂中央病院（兵庫）で来春より研修を始める予定である。

DPCCに対応した第二の試みは、「DPCC試行病院連絡協議会」の設立である。この協議会は、医療経営管理学科の高橋、外山、山田が呼び掛けを行い、DPCC試行や回りのデータ提供に参加する民間の先進病院の半数以上が集まり今年の五月に結成された協議会参加病院（七月三十日現在三二病院）は、国へ提出する患者情報と支払いデータと同様の膨大なデータを国際医療福祉大学に提出する。これらのデータを事務局である医療経営管理学科が解析し、各病院へフィードバックを行う。また協議会は、必要

に応じて国に対してDPCCに関する種々の提言や、協議会参加病院やこれからDPCCに参入を予定している病院に種々の情報を提供する予定である。

医療経営管理学科は、卒業特別研修とDPCC連絡協議会を通して、変革の時代に対応できる人材を養成するためのノウハウを蓄え、今後、卒業生が医療機関で指導的役割を担える人材として活躍できるように、教育内容の充実を目指している。

**DPCC三講座**

病名や提供された診療内容をもとに患者を区分するケースミックス区分法を「診断群分類」という。日本では二〇〇三年度より特定機能病院において、DPCC（Diagnosis Procedure Combination）という診断群分類をもとにした患者情報や診療情報の収集が始まった。また、同時に、医療費のかなりの部分を患者がどのDPCCに属するかにより支払額が決める新しい診療報酬の支払いが開始され、今後急性期医療を行う病院に対して、この支払い方式が急速に拡大されていく可能性が高い。DPCCを用いた新しい診療報酬体系の特徴は、判定されたDPCCにより、一日当たりの包括払いの額が決定される。

入院期間により支払額が変動し、入院がある期間を超えると支払額が減少する。同一のDPCCに分類された場合でも、一日当たりの医療費は病院により異なるという二点にまとめられる。

『医療・福祉経営管理入門（四訂版）（国際医療福祉大学出版会刊）第一部第八章「診断群分類（DPCCとDPS）」（高橋泰著）より。

**告知板**

**「看護学科公開学習会」のお知らせ**

地域住民や県内の看護実習施設の方々とともに学び、交流を深めることを目的として、今年度も看護学科では公開学習会を次のとおり開催します。

今年は「子育てと危機 子どもとどう向き合つか」と題して、シンポジウムを行う予定です。親・養護教諭・保健師・精神科医の四名のシンポジストを迎え、家族関係が希薄になってきている状況の中で、どのように大人が子どもと向き合っている関係性をつくっていくべきなのか、不安や戸惑いの現状を理解し、その解決に向けた手がかりを参加者の皆さんと一緒に考えてみませんか？

多くの方々の参加を心よりお待ちしております。

- 【開催日時】十一月二十日（土）十二時五十分～十五時三十分
- 【場所】国際医療福祉大学 E101教室
- 【定員】一五〇名
- 【問合せ先】国際医療福祉大学保健学部看護学科 公開学習会担当：刈生田・平山・押尾

電話：〇二八七 二四 三〇二六  
 FAX：〇二八七 一四 三〇七二  
 （看護学科助教 郷間悦子）

**「OB・OGセミナー&座談会」開催のお知らせ**

昨年も開催致しました「OB・OGセミナー&座談会」を、今年度は風化祭の期間中に合わせ左記のように開催する予定です。

この「OB・OGセミナー&座談会」は、実際に医療・福祉の現場で活躍している卒業生を招き、業界の現状や実際の仕事ぶり、自分の就職活動などについて語ってもらおうプログラムです。かつて自分たちと同じように大学で夢に向かって努力を重ねてきた先輩の言葉は、学生たちにとって何ものにも代えがたい説得力があるものと思います。

昨年は三十名近くの卒業生を招き開催されましたが、学部生の参加があまり思わしいものではありませんでした。決して堅苦しい会ではありませんので、ちょっと先輩方の話を聞いてみよう、くらいの気持ちで、御気軽にご参加下さい。

- 【日時】十月十七日（日）正午より
- 【場所】L棟五階 多目的ホール
- 【参加費】無料（昼食、ソフトドリンク付）

（同窓会理事 鈴木康文・PT一期生）



昨年の「OB・OGセミナー&座談会」

**映画の心と眼**

第1回

**現代人にとって祈りとは**

この時「現代人にとって祈りとは何か」と自身に問い詰めた衝動にかられた。私は打ちのめされる思いで聴き入り、盲僧を凝視した。一八八三年にドキュメンタリー映画作品『薩摩盲僧琵琶』を製作した時、『地神』などを守護神とする目の見えない坊さん、つまり盲僧・福貴島順海師と初めて出会ったその感慨である。そもそも薩摩盲僧は、鎌倉時代に島津藩の祈禱僧として下向し、現在の鹿児島県吹上町の地に本寺・常楽院を建立したことに始まった。

盲僧の生き方と琵琶の尊さを通じての『生と死』。このテーマでの映画製作の最中、私には忘れられない出来事が起こった。当時十六歳であった息子の行状を盲僧に打ち明けた。『朝になると腹や頭が痛い熱がある』と云って登校拒否が続く。その内に暴走族の仲間にも入ってしまった……。

祭壇の前でこの悩みごとについて祈り続けてくれた盲僧の姿は、初めて出会った時の強烈な印象そのものであった。盲僧は語り始めた「息子さんは、これから五カ月おそろく九カ月には必ず立ち直りますから……」。いぶかしげに聞いていた私を察知し、「その立ち直る証拠として、息子さんの左肩の所に赤いアザのようなものが現れているはずだ」。後日、息子の左肩に「センチほどの赤い斑点」があることを私は知った。そして六カ月目頃から息子は確実に立ち直った。



著者近影

白い杖をつき、檀家廻りをする盲僧  
 （映画『薩摩盲僧琵琶』より）

**キリトリ線**

**多目的施設名称応募用紙**

（一般・学生・教職員）

施設の名称	
その名称を選んだ理由	
応募者	氏名 _____ 住所 _____ 電話（連絡先） _____

《国際医療福祉大学学生 学科 年》

- 応募方法：この用紙をコピーするかまたは切り取って、大学学生課宛ご郵送ください（学生の方は、学生課窓口「応募箱」へ）。  
 FAX での応募も受け付けております。  
 （なお、応募用紙は大学ホームページからもダウンロードできます。http://www.iuhw.ac.jp/topics/budoukankoubo.html）
- 応募資格：一般・学生・教職員、どなたでも応募できます。
- 応募・問い合わせ先：〒324-8501 栃木県大田原市北金丸2,600-1 国際医療福祉大学 学生課  
 TEL：0287(24)3003 FAX：0287(24)3140
- 締切り：平成16年10月31日
- 賞品：図書カード（5万円分）



**国際医療福祉リハビリテーションセンター**  
夏祭りを終えて  
今年で第五回を迎えた国際医療福祉リハビリテーションセンター夏祭りは、例年になく天候に恵まれ盛大に開催することができました。  
入所者は久しぶりに家族と一緒に過ごせるひとときが持て、とても嬉しそうでした。  
多くの来賓の方々にもご臨席を賜り、またお祭りにボランティアとしてご協力頂きました皆様のお力添えによって、無事に終了することができましたことを御礼申し上げます。  
模擬店は、綿あめや焼きそば、玩具など、盛り沢山の品々が賑わいました。アトラクションでは例年、好評を得ているお囃子やアンサンブル演奏、大学音楽サークルのメンバーによる演奏、スタッフによるダンスショーなどで私たちに感動を与えてくれました。  
お祭りを締めくくる花火は夏の夜空を彩り、私たちの心に残る思い出を刻んで幕を閉じました。  
終了後、反省会を開いて課題を挙げて来年度の夏祭りに反映できるタイムテーブル等の作成をしています。  
来年はより一層、皆様に喜んでもらえる楽しい夏祭りを企画したいと思っております。  
(夏祭り実行委員長 瀧田晶子)



本記事中の写真掲載に当たっては、入所者本人および関係者の了解を得ております。

ギリシャ語で腫瘍を意味する'oncos'を語源とする'onco'に、学問を意味する'ologie'を組み合わせた'oncology'(オンコロジー)つまり「腫瘍学」、「腫瘍医学」を実践するのがオンコロジーセンターです。  
二〇〇三年九月、私は十六年間勤務した国立がんセンターから国際医療福祉大学グループに移り、関連施設である山王メディカルプラザにオンコロジーセンターを開設しました。それまでに数回、高木理事長とお話をさせていただき、わがグループ内、がん医療の臨床、研究、教育を包括的に進める拠点を作れないか、ということに準備を進めてきました。オンコロジーセンター開設後にまず取り組んだことはチーム医療の構築です。現在、オンコロジーセンターでは、看護師四名、薬剤師一名、医師二名、秘書一名がチームを構成し、医事・会計、事務部門との協調体制を基盤として、外来がん化学療法とセカンドオピニオンの提供



**山王メディカルプラザ**  
「オンコロジーセンター」のご紹介  
オンコロジーセンター長・国際医療福祉大学教授 渡辺 亨

を行っています。がん化学療法に閉じ世間目を見れば、外来通院で十分に安全かつ効率的に実施できるものを、患者を無意味に長期入院させた状態で行っているのが現状です。外来通院ならば従来通りの毎日の生活や仕事をしながら治療を受けることができます。外来がん化学療法を行うには、副作用の予防と対処に万全を期さなくてはなりません。また、患者さん自身に治療方法を理解してもらう必要がありま。その説明は、医師よりも、むしろ看護師の方が、患者さんの理解度を確認しながら情報提供するのがずっと上手です。セカンドオピニオンも、現在のがん医療で決定的に不足しているため、オンコロジーセンターでは力を入れています。毎日三、四人の患者さんがセカンドオピニオンを求めて来院されますが、一人に三十分、六十分かけて話を聞き、よく説明し、抗がん剤治療の段取りについて十分に理解してもらっています。  
一年が経ち、オンコロジーセンターもやっと軌道に乗ってきました。次のステップは、全国の国際医療福祉大学グループの病院・診療所にもオンコロジーセンター機能を広げていくことです。時代は変わりましたが、もはや、抗がん剤治療は特別な専門施設でなければ受けられない、日常生活も社会生活もすべて犠牲にしなければならない、という時代ではありません。自宅からちょっと歩いて行けるところや、会社の近くにオンコロジーセンターがあればどんなに便利でしょう。日々の交番のように、外来がん化学療法を行う施設をあちこちに作ることに、それが私の目標です。興味がある方はご連絡ください。

**国際医療福祉病院・マロニ苑・梶の実荘**

**七月十三日**  
今年もグループ職員が「西那須野ふれあいまつり」に参加「西那須野ふれあいまつり」で恒例の「流し踊り」が七月三十一日(土)開催された。台風接近で心配された天気も回復し、国際医療福祉病院・マロニ苑・梶の実荘の三施設職員有志総勢百五十余名が参加し、夜の西那須野町を練り歩いた。  
艶やかな浴衣姿の女性を縫って舞う看護師姿の男たち、白馬も大爆走、浦島太郎に着物の女性、ハワイアン女装にハゲ親父姉妹(?)の踊りに観客も大喝采。日中の炎暑はどこへやら、涼風が吹き、しのぎやすい夕べとなったが、各参加団体の踊りにか



審査の結果グッドアイデア賞に

国際医療福祉病院・マロニ苑・梶の実荘による三施設合同納涼祭が八月七日(土)十八時から行われた。今年暑い日が続く県内でも食中毒の発生が多発していることもあり、手袋着用等、公衆衛生対策に万全の体制を敷き、危険箇所の警備を従来より厳重にし、参加者の安全に細心の注意を払った。  
残念なことに夕立が降り、断腸の思いで屋外駐車場の開催を取り止め、マロ



雨のため、マロニ苑と梶の実荘のロビーに会場を移して開催

ける意気込みは並々ならないものがあり、異様な熱気が辺りに満ち溢れていた。私たちが地域医療に励むものとしての誇り(?)を胸に、精一杯踊り、審査の結果グッドアイデア賞を頂くことができた。今後とも地域に「笑い」ではなく「医療福祉」で貢献していきたいと思っている。  
(国際医療福祉病院総務課 小林庸良)  
**八月七日**  
毎年恒例の「三施設合同納涼祭」開催

二工苑と梶の実荘のロビーに会場を移して開催された。参加者は八木節やヨサコイ・アトラクション等を楽しみ、焼きそばやた焼きなど一部の模擬店も出され、雨の振る中でも楽しい時間を過ごすことができた。  
昨年は台風で花火が中止となり、今年もだめかと諦めかけていた矢先、天に願いが通じたのか奇跡的に晴れ上がり、夏の夜空に大団の花が咲きほこった。花火の後の涼風には硝煙の臭いと微かな秋風が交じりあって郷愁を誘い、誰にとつても、忘れられない夏の思い出となった。  
(国際医療福祉病院総務課 小林庸良)

**国際医療福祉病院**

切らずに結石だけを砕く最新治療法「体外衝撃波結石破砕術」(ESWL)のご案内  
**一 尿路結石症とは?**  
尿路結石症とは、腎臓から尿管・膀胱・尿道の通り路に結石ができる病気。結石が尿とともにスムーズに流れ、自然に排出されれば問題はないが、腎臓や尿管に留まると、腰や腹部に激しい痛みや血尿などを起こすことがある。放っておくと腎臓の機能が低下する場合もある。食生活の欧米化に伴い増加しており、統計的に十人に一人は罹る可能性がある。  
**二 ESWLとは?**  
当病院においては体外衝撃波結石破砕術装置を使い、腎・尿管結石を切らずに治す「体外衝撃波結石破砕術」(ESWL)



結石破砕装置：ドルニエ リソトリプター-D

を行っている。この装置は、体外から衝撃波というエネルギー波を結石に向けて照射し、筋肉や他の臓器を傷つけることなく、結石のみを細かく破砕する最新療法である。砂状に破砕された結石は尿とともに自然に体外に排出される。  
**三 主な特徴**  
・体に傷がつかない。  
・治療時間は短く、一時間以内で終わる。  
・副作用・後遺症はほとんど認められない。  
・入院期間が短く、退院後すぐに日常生活・職場への復帰が可能。  
・高齢の方や、他に病気のある方、高血圧・糖尿病などでも安心して受けられる。  
・再発の場合の治療法としても最適。  
・健康保険が適用される。  
・本院ではドクターの管理のもと、毎月十五症例程治療が行われている。  
(国際医療福祉病院総務課 小林庸良)



## 勉強するなら、「医療福祉チャンネル774」

医療福祉チャンネル774では、衛星放送スカイパーフェクTV! 774チャンネルで、医療・福祉・健康・介護に関する教育、教養、情報番組を放送!

### 「介護福祉士受験講座2005」&「社会福祉士受験講座2005」開講!

介護福祉士受験講座2005  
 ツボを押さえた講義と講師執筆の番組完全準拠のサブノート活用で、要点を素早く理解。実技試験対応の実技編では映像の利点をフル活用。  
 社会福祉士受験講座2005  
 福祉系大学・専門学校生・福祉関連施設従事者の国家試験受験勉強ツールに最適。番組でペースをつかみ、着実に解答力が付きます。



介護福祉士受験講座：松永安優美先生  
 (老人保健施設安の里・医師)



社会福祉士受験講座：鈴木五郎先生  
 (国際医療福祉大学医療福祉学部長・教授)

### 第1回 医療経営セミナー

「医療貸付事業の現状と課題」「病院を取り巻く経営環境と医療福祉経営審査機構」「銀行から見た医療機関の資金調達」病院を取り巻く環境の変化を多角的な視点から解説します。



開原成允先生  
 (株式会社医療福祉経営審査機構 CEO・国際医療福祉大学大学院長)

#### 医療福祉チャンネルを見るには

「医療福祉チャンネル774」は衛星放送スカイパーフェクTV!の774チャンネルでご視聴いただけます。ご視聴には、スカイパーフェクTV!専用アンテナ&チューナーをお部屋のテレビにつなぐだけ!  
 視聴料・・・月額2,100円(税込) / 法人契約：5,250円(税込)  
 (このほかに、スカイパーフェクTV!加入料・・・2,940円(税込・初回のみ)・スカイパーフェクTV!月額基本料・・・410円(税込)がかかります。)  
 IUHW学生、マロニエ会会員、教育後援会会員の皆様は、特別視聴の制度があります。下記までお問合せ下さい。

テキストのお申し込み・視聴に関するお問い合わせは  
 フリーダイヤル 0120-870-774(お客さま係) Eメール info@iryoufukushi.com ホームページ www.iryoufukushi.com

## IUHW 国際医療福祉大学出版会新刊書のご案内

試験に必要な知識が 短期間で、効率的に、確実に身につく

「必携 ケアマネジャー試験対策2004」



定価：4,500円  
 (税込・送料サービス)

試験対策「必携」シリーズの第2段階いよいよ発行!

「必携 社会福祉士国家試験対策」



定価：4,500円  
 (税込・送料サービス)

これから社会福祉学を学ぼうとするすべての初学者のための入門書

「入門・社会福祉学」



定価：本体2,940円  
 (本体2,800円+税5%)

医療・経営管理職育成のためのバイブル。待望の四訂版!

「四訂 医療・福祉経営管理入門」



定価：本体3,990円  
 (本体3,800円+税5%)

ご注文は、国際医療福祉大学出版会まで 〒107-0052 東京都港区赤坂8-5-34 島藤ビル 電話03-5414-6098 FAX03-5772-5549  
 E-mail: press@iuhw.ac.jp http://press.iuhw.ac.jp

デザイン：アイ・デフト。

発行：国際医療福祉大学  
 編集部  
 【東京】  
 〒107 0062  
 東京都港区南青山一 一四一  
 アミティ乃木坂三階  
 電話 〇三二四七五 五〇六一  
 【大田区】  
 〒324 8501  
 栃木県大田原市北金丸二六〇〇一  
 国際医療福祉大学内  
 電話 〇二八七 二四三〇〇〇



## IUHW 短信

オープンキャンパスで「模擬授業」を開催

IUHW Note

平成17年4月に開設予定の薬学部薬学科をはじめ、本学全学科の「模擬授業」を以下のように実施します。

日程：10月16日(土)・17日(日)

場所：本学F棟2階にて(教室番号は下の時間割を参照)

時間割：10:10～10:50 作業療法学科(201教室)  
 13:00～13:40 医療福祉学科(201教室)薬学科(202教室)  
 13:50～14:30 医療経営管理学科(201教室)言語聴覚学科(202教室)  
 14:40～15:20 理学療法学科(201教室)視機能療法学科(202教室)  
 15:30～16:10 看護学科(201教室)放射線・情報科学科(202教室)

問い合わせ先：国際医療福祉大学入試センターへ  
 0287-24-3210(広報室)または0287-24-3200(入試課)